

## 別添 1

### 感染症を考える月間 シンポジウム 実施要領

#### 1. 目的

新型コロナ対応における専門家の考え方や判断の背景への理解を深めるとともに、医療従事者や行政職員等がそれぞれの立場に応じて適切に判断・行動するための視点を共有し、不確実な状況の中で感染症と向き合うための考え方を共有する機会とする。

#### 2. テーマ

感染症と共に生きる社会 ― 不確実な状況のなかでどう判断し、どう伝えるか ―

3. 日時 令和 8 年 11 月 12 日（木）13:00 ～ 16:00

4. 場所 大津市生涯学習センター 1 階ホール

5. 定員 500 名（事前申込制）

6. 方法 会場への集合形式としてオンライン配信は行わない。

#### 7. 基調講演

##### (1) タイトル

新型コロナウイルス感染症対応 ～何を考え、何を悩んできたのか～

##### (2) 概要

新型コロナウイルス感染症対応において、限られた情報と不確実な状況の中で、専門家として何を重視し、どのように考え、判断されていたのか、また、どのように伝えようとしていたかといった「専門家側の思考プロセス」を講演する。

(3) 座長 滋賀県健康医療福祉部 次長 切手 俊弘

(4) 講師 公益財団法人結核予防会 理事長 尾身 茂 先生

#### 8. パネルディスカッション

##### (1) 概要

新型コロナウイルス感染症対応において、専門家、総合病院、行政、地域医療など、それぞれ異なる立場から経験を振り返り、何を抛り所に判断したのか、どのように対応したのかを共有し、次の感染症の危機管理対応において何を抛り所に判断し、どう伝えるべきかを考える。

(2) 座長 滋賀医科大学医学部附属病院 教授 中野 恭幸 先生

##### (3) パネリスト

公益財団法人結核予防会 理事長 尾身 茂 先生

国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 応用疫学研究センター  
センター長 砂川 富正 先生

滋賀県県立総合病院感染管理室 室長 大江 秀典 先生

滋賀県保健所長会 副会長 川上 寿一 先生

ふくだ医院 院長 福田 正悟 先生

## 9. タイムスケジュール

| 開始    | 終了    | プログラム       | 時間   |
|-------|-------|-------------|------|
| 12:30 | 13:00 | 会場・受付       | 0:30 |
| 13:00 | 13:05 | 開会・挨拶       | 0:05 |
| 13:05 | 14:05 | 基調講演        | 1:00 |
| 14:05 | 14:15 | 休憩          |      |
| 14:15 | 15:15 | パネルディスカッション | 1:00 |
| 15:15 | 15:35 | 質問回答        | 0:20 |
| 15:45 |       | 閉会          |      |